「事例研究 財政政策」特別講義（公開授業）

社会保障と税の一体改革

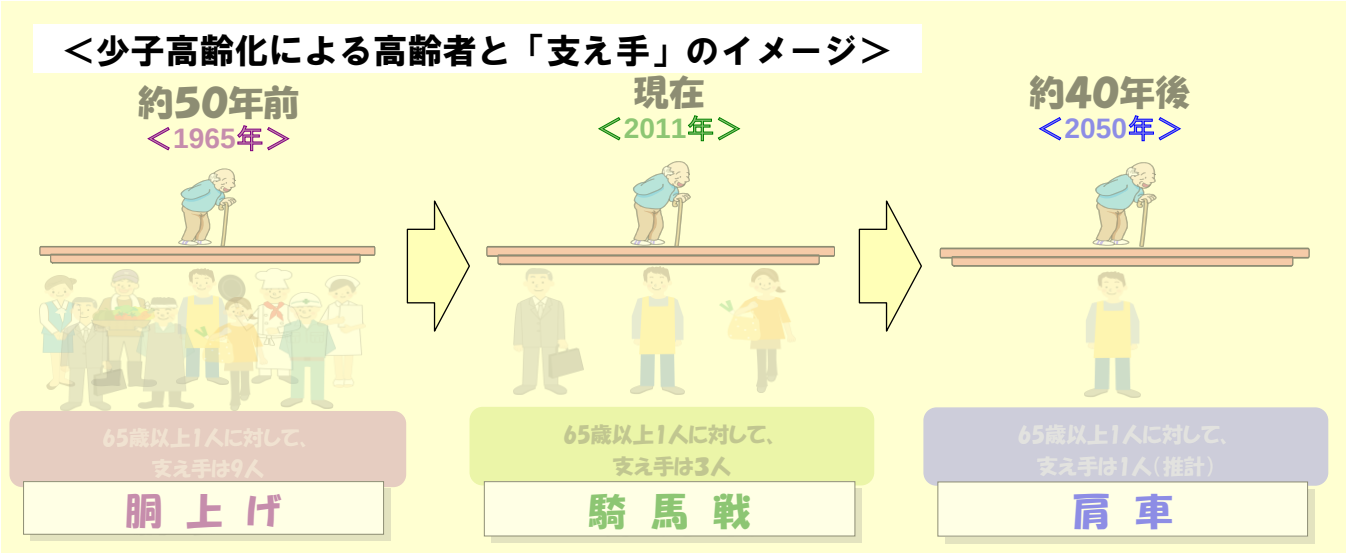
日時：2012 年 4 月 19 日（木）14：50～16：30
場所：経済学研究科棟第1教室（地下１階）
講師：財務省主税局税制第二課 住澤（すみさわ） 整（ひとし） 課長

- **なぜ今、「消費税引き上げ」なの？**
- **社会保障制度と国の財政の関係とは？**

【講義概要】

保険証１枚で誰でも受診することができる医療保険、老後の安心を支える年金、そして子育て支援など、社会保障制度は、私たちの人生の様々な局面で、安心を裏付けるものとなっています。

しかし、現在の社会保障制度が整備されてから既に半世紀が経ち、少子高齢化の進行など、日本の経済社会を取り巻く環境が変化するにつれ、社会保障制度とそれを支える財政の持続可能性には、大きな懸念が投げかけられています。

現在、「消費税の引き上げ」が特に大きな話題となっている「社会保障と税の一体改革」は、こうした状況の中、安心して生活できる社会を将来に引き継いでいくためのものであり、私たち一人一人の生活に深く関わるものです。

今回の特別講義では、「社会保障と税の一体改革」について理解と問題意識を深めるため、改革の実務に携わる現役の財務省の課長を講師としてお迎えし、この改革が今なぜ必要か、改革の具体的な論点、改革によって目指す日本社会の姿等について、講義と意見交換（質疑応答）を行います。